

「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を踏まえた教育の実現を目指して

『夢を実現し、未来を創る 熊本の人づくり』の理念の下、学校が児童生徒にとって安全で安心で
 きる学びの場となる環境づくりを推進し、いじめ・不登校等の未然防止や生徒指導上の諸課題の早期
 解決に向けて組織的な指導体制を整え、関係機関や専門家等と連携して児童生徒に寄り添った指導・
 支援を行う。

また、学校における安全教育及び安全管理の充実を図るとともに、令和2年7月豪雨及び熊本地震
 により被災した児童生徒等に対する心のケアを継続し、創造的復興に向けた取組の充実を図る。

1 生徒指導の充実

(1) 魅力あるよりよい学校・学級づくりの推進

- ・児童生徒相互の人間関係、児童生徒と教職員との信頼関係を構築するとともに、共感的理解に努
 め、学校総体として魅力ある学校づくりを推進する。
- ・共に学び、活動することを通して、児童生徒一人一人が存在感や自己実現の喜びを実感できる場
 となる支持的な風土の学級づくりを推進する。

・積極的な生徒指導や組織的な教育相談等を通じて、児童生徒の自己指導能力を育成するとともに、
 関係機関や専門家等と連携して問題行動等の未然防止・早期解消に取り組む。

(2) 不登校対策・適応指導の充実

- ・すべての児童生徒の居場所づくりを推進するとともに、SOSの出し方に関する教育等を通じて、
 不登校の未然防止に取り組む。特に、欠席10日目までにはスクールカウンセラー（以下SC）
 やスクールソーシャルワーカー（以下SSW）等の専門家と連携し、早期対応に努める。

・不登校児童生徒への支援は、SC・SSW等の専門家や教育支援センター等の公的機関や民間施
 設とも連携して、一人一人の社会的な自立を目指して行う。また、進級・進学等に伴う引継ぎを
 適切に行うため、「不登校支援シート」等を積極的に活用するなどして、継続した支援に努める。

2 いじめの未然防止と対応の充実

(1) 未然防止の充実

- ・すべての児童生徒に「いじめは決して許されない」ことの理解を促進するとともに、人間関係を
 形成していく能力や立場や意見の異なる他者を理解する能力などいじめを未然に防止するための
 資質・能力を育む。

・いじめの背景にあるストレス等の要因に着目し、その解消・改善を図るとともに、ストレスに適
 切に対処できる力を育むことや、すべての児童生徒が自己有用感や自己肯定感を感じられる学校・
 学級づくりを推進する。

(2) 早期対応の充実

- ・教職員自身が児童生徒の小さな変化やサインに気付く力を高める。また、「情報集約担当者」の役
 割を明確にし、学校組織におけるいじめに係る情報の迅速な共有化を図るとともに、いじめを把
 握した場合の早期対応及び組織的な対応、更には関係機関との連携についての実践力向上を図る。
 ・定期的なアンケート調査や教育相談の実施、電話相談窓口等の周知等により、児童生徒がいじめ
 を訴えやすい体制を整備するとともに、児童生徒自身が主体的にいじめの問題の解決に向けて行
 動できるような集団づくりを推進する。

3 学校の安全教育及び安全管理の充実

(1) 安全教育の充実

- ・学校安全計画に基づき、カリキュラム・マネジメントの確立を図るとともに、系統的・体系的な
 安全教育の充実を図る。
- ・防災教育に関しては、防災主任の役割を明確にするとともに、「学校防災教育指導の手引」を活用
 した授業改善及び実践的な避難訓練等に取り組む。また、令和2年7月豪雨及び熊本地震の経験
 を踏まえ、家庭、地域、関係機関等との連携・協働による防災教育の充実を図る。

(2) 安全管理の充実

- ・危機管理マニュアル等に基づき、事故等の未然防止や再発防止等に努めるとともに、事故等発生
 時において、適切な対応が講じられるよう組織的な安全管理の充実を図る。
- ・学校防災に関しては、学校の立地状況等に応じて、家庭、地域、関係機関等との連携・協働によ
 る防災体制の整備に取り組むとともに、事前・発生時・事後の三段階に応じた危機管理の充実を
 図る。また、災害発生後の児童生徒等の心のケアの充実を図る。